

折に触れ 四字熟語

NO. 47 『旱天慈雨』 かんてん じう

< 意味 > 苦境にあるときや困難なときに、もたらされる援助や救いのたとえ。また、待望していた物事が実現したり手に入ったりするたとえ。日照りに降る恵みの雨の意から。

語 釈 : 「旱天」は日照りが続き長い間雨が降らないこと。「慈雨」は恵みの雨の意。恩恵がゆきわたるたとえ。「旱」は「干」とも書きます。

類義語に「大旱慈雨 (たいかん じう)」「大旱雲霓 (たいかんのうんげい)」もあります。

一 言 : 雨シリーズその3

梅雨も明けたということなので、そろそろ「夏」の漢字にしようと思っていたところ、関東地方はこのところ、戻り梅雨とかでぐずついた天気が続いています。そのお陰で関東地方の上流8ダムの貯水量は7月28日現在84.6%にまで回復してきました。まさに恵みの雨。安心して打ち水、庭木の水やりができます。

参考文献 : 三省堂「四字熟語辞典」岩波書店「四字熟語辞典」